

田んぼダムに関するアンケート調査結果

農地整備課

1 調査目的

県では、今後「田んぼダム」の取り組みを推進することとしており、その推進方針を検討するために、アンケート調査を実施します。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター839人(郵送モニター:199人 インターネットモニター:640人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和6年6月17日～7月12日

回収結果: 781人(回収率93.1%)

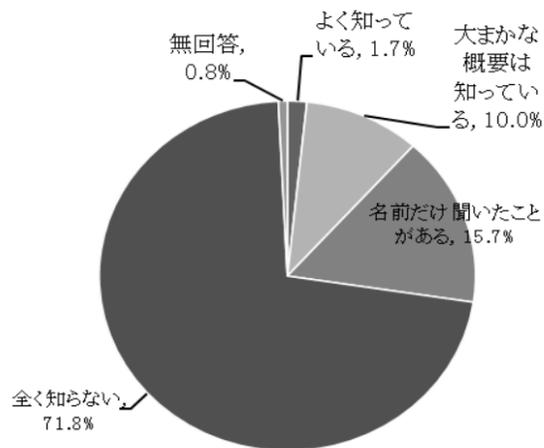
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

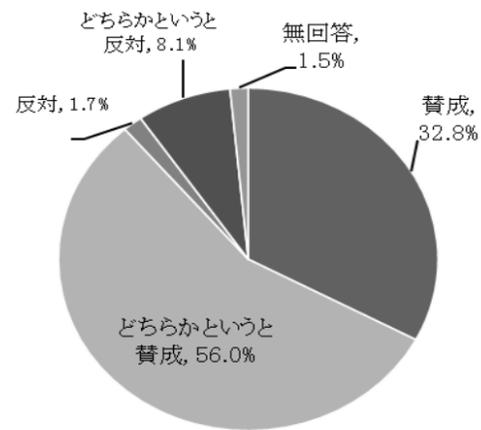
3 結果概要

○ 田んぼダムについて

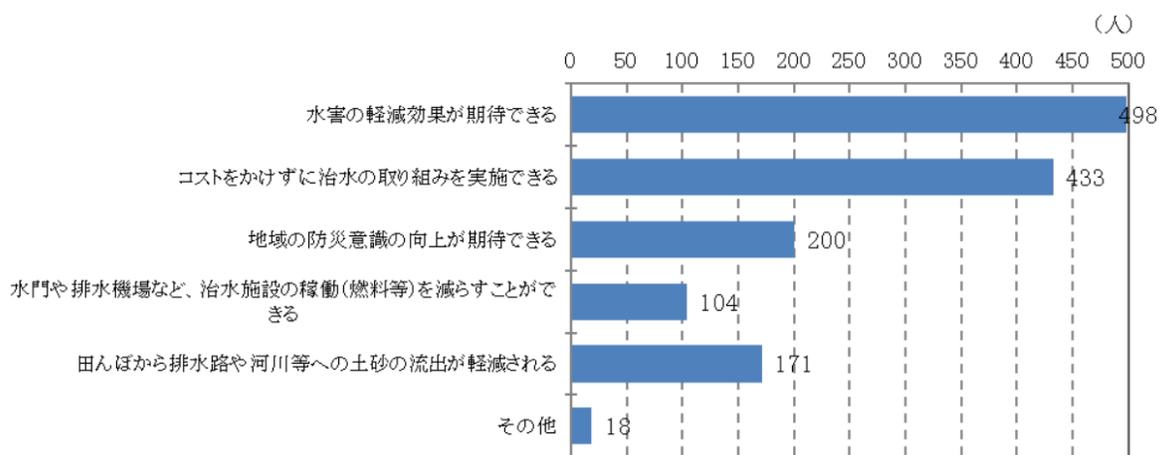
田んぼダムの取り組みについて知っていましたか。



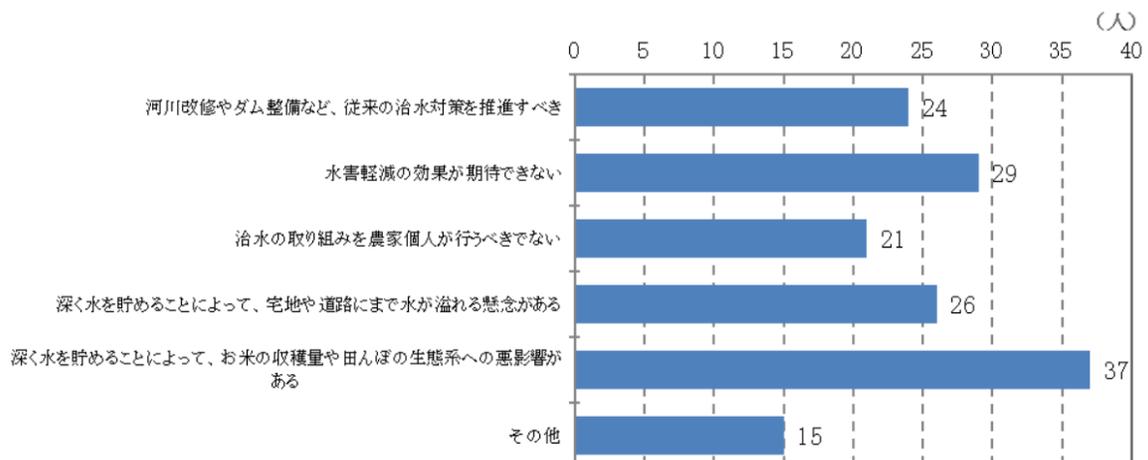
田んぼダムの取り組みについてどのような意見をお持ちですか。



賛成と思われた理由について選択肢からすべて選んで下さい。(複数回答)



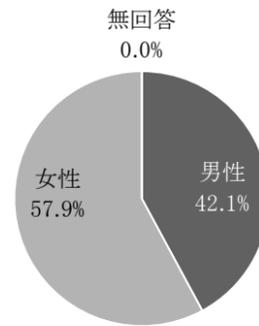
反対と思われた理由について選択肢からすべて選んで下さい。(複数回答)



4 回答者属性

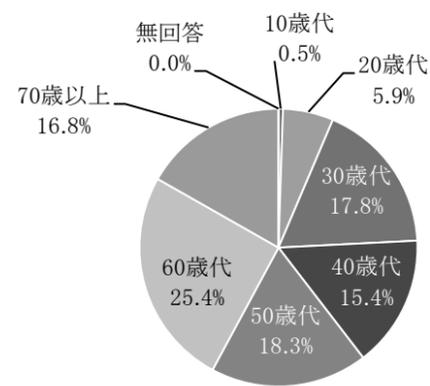
(1) 性別

	人数	割合
男性	329	42.1%
女性	452	57.9%
無回答	0	0.0%
計	781	100.0%



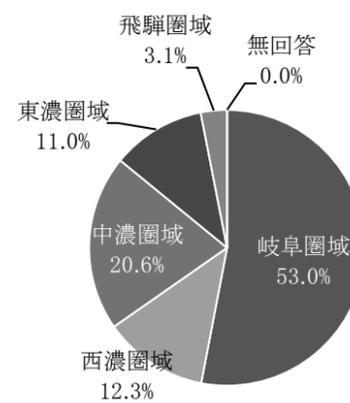
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	4	0.5%
20歳代	46	5.9%
30歳代	139	17.8%
40歳代	120	15.4%
50歳代	143	18.3%
60歳代	198	25.4%
70歳以上	131	16.8%
無回答	0	0.0%
計	781	100.0%



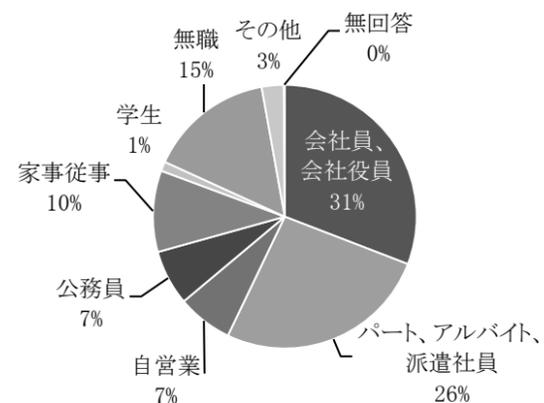
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	414	53.0%
西濃圏域	96	12.3%
中濃圏域	161	20.6%
東濃圏域	86	11.0%
飛騨圏域	24	3.1%
無回答	0	0.0%
計	781	100.0%



(4) 職業別

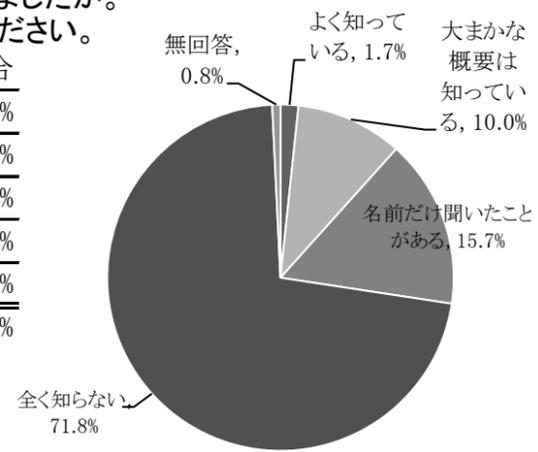
	人数	割合
会社員、会社役員	241	31%
パート、アルバイト、派遣社員	205	26%
自営業	53	7%
公務員	53	7%
家事従事	78	10%
学生	9	1%
無職	120	15%
その他	21	3%
無回答	1	0%
計	781	100%



5 調査結果

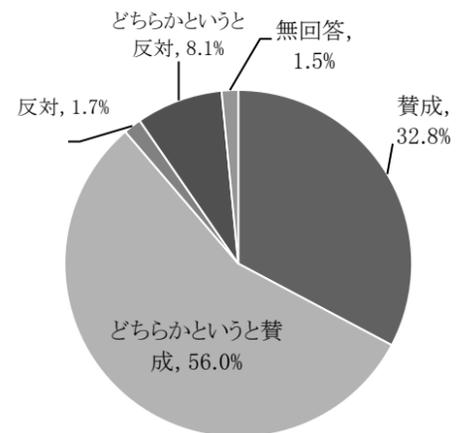
問1 田んぼダムの取り組みについて知っていましたか。
次の中からあてはまるものを1つあげてください。

	人数	割合
よく知っている	13	1.7%
大まかな概要は知っている	78	10.0%
名前だけ聞いたことがある	123	15.7%
全く知らない	561	71.8%
無回答	6	0.8%
計	781	100.0%



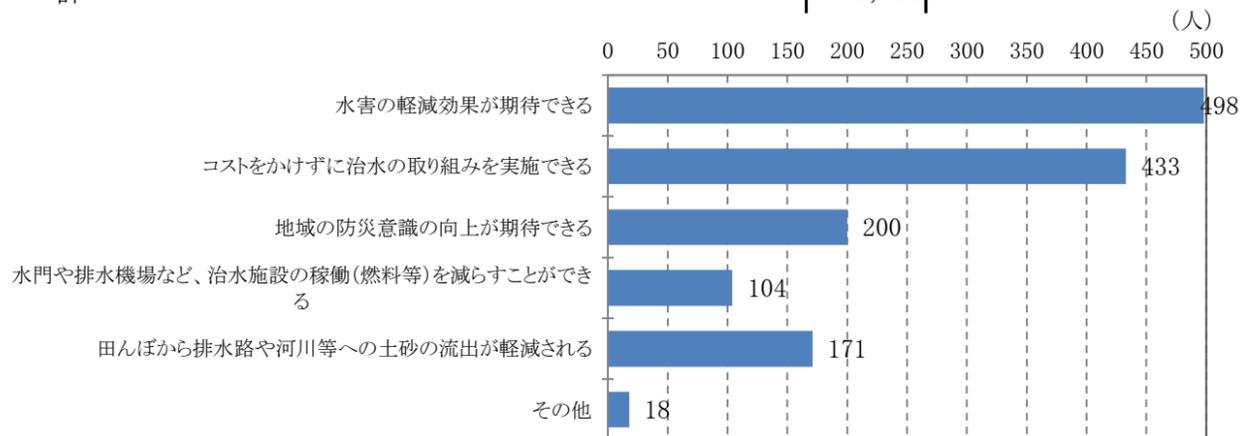
問2 田んぼダムの取り組みについてどのような意見をお持ちですか。
次の中からあてはまるものを1つあげてください。

	人数	割合
賛成	256	32.8%
どちらかという賛成	437	56.0%
反対	13	1.7%
どちらかという反対	63	8.1%
無回答	12	1.5%
計	781	100.0%



問3 (問2で「賛成」または「どちらかという賛成」と答えた方にお尋ねします。)
 賛成と思われた理由について選択肢からすべて選んで下さい。
 (複数回答) 回答者 693 人

	回答数	割合
水害の軽減効果が期待できる	498	71.9%
コストをかけずに治水の取り組みを実施できる	433	62.5%
地域の防災意識の向上が期待できる	200	28.9%
水門や排水機場など、治水施設の稼働(燃料等)を減らすことができる	104	15.0%
田んぼから排水路や河川等への土砂の流出が軽減される	171	24.7%
その他	18	2.6%
計	1,424	-

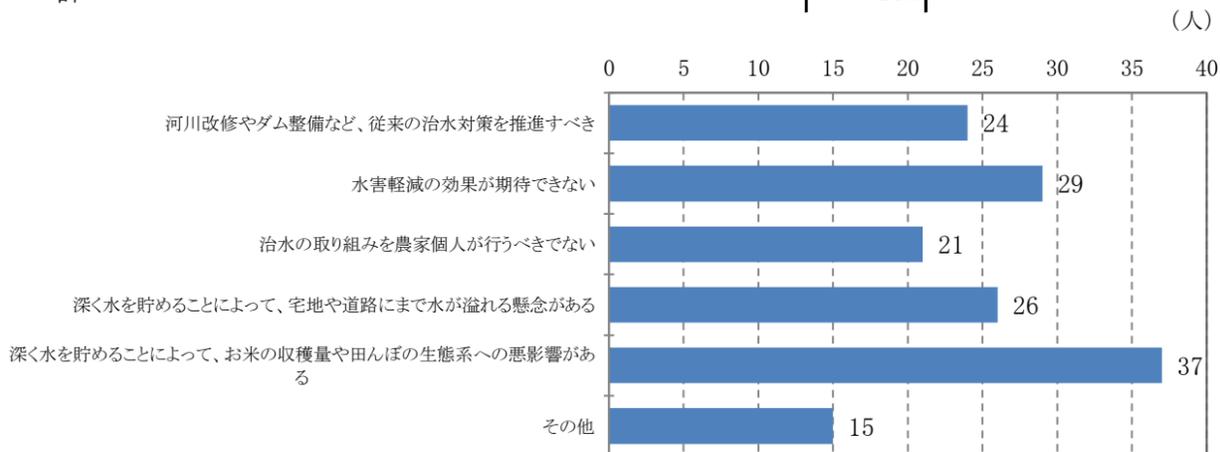


「その他」のうち主なもの

- ・ 田んぼの存在意義が今よりも高まり、保存していこうという意識付けにつながる。
- ・ 田んぼ、水田の維持管理は、手間がかかり、所有者のコスト面の考えも考えて欲しい。
- ・ 農家との意見交換が重要だと思います。

問4 (問2で「反対」または「どちらかという反対」と答えた方にお尋ねします。)
 反対と思われた理由について選択肢からすべて選んで下さい。
 (複数回答) 回答者 76 人

	回答数	割合
河川改修やダム整備など、従来の治水対策を推進すべき	24	3.5%
水害軽減の効果が期待できない	29	4.2%
治水の取り組みを農家個人が行うべきでない	21	3.0%
深く水を貯めることによって、宅地や道路にまで水が溢れる懸念がある	26	3.8%
深く水を貯めることによって、お米の収穫量や田んぼの生態系への悪影響がある	37	5.3%
その他	15	2.2%
計	152	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 保水能力や治水設備の面で、限界を超えた時の下流の水害への影響が計り知れない。
- ・ あげの管理が負担になりそうです。
- ・ 家のまわりが田んぼであり、危険を感じるため。

問5 田んぼダムに対するご意見・ご要望・ご感想などございましたら、お聞かせください。

・田んぼダム自体を初めて知りましたがデメリットがわからないくらい良い取り組みだと思いました。住んでいる所は次々に埋め立てられ田んぼがなくなっているのがとても悲しいのもっと知られて広がってほしいし、田んぼを手放す人が減る取り組みをしてほしいと思いました。

・聞いたことがなくよく分からなかったですが、地域の防災意識をもつきっかけになるなら取り組むことが重要だと思いました。

・稲の生育に全く影響がなければ賛成です。

・荒れた休耕田を整備し水環境を維持することは温暖化対策にもつながるし自然環境の向上にもなるから推進して欲しい。

・各市町村、浸水被害がしやすい地域(上流域に田んぼがある)をモデル地域として、田んぼダムの実証事業をやってもらえば効果が期待できるのではないのでしょうか。田んぼの落とし口の調整なので、調整部品が支給されれば安易に取り組むことができる気がします。

・田んぼダムについて初めて知りましたが、今ある田んぼを使うことで水害が少なくなるなら良いと思いました。ただ、最近田んぼが少なくなり、自分のうちも自分たちでできないので委託しています。田んぼとして継続していくのも大変だと思っています。

・メリット、デメリットをわかりやすく解説してほしい。実施地域住民や地域内の学生にも説明会を行ってほしい。万が一にも事故のないようにしっかり対策してほしい。

・今回初めて聞いたので、ホームページなどで詳しく掲載してほしいです。

・虫の発生を抑えてください。

・田んぼダムを実施し、何らかの被害が発生した時に補償や修繕等に関する対応策を具体的に示す必要がある。

・治水対策の一環としては、効果が期待できると思います。当然複合的な施策(森林の確保、河川・土地改修等)があつての「田んぼダム」と考えます。

・休耕田や耕作放棄地が多いため、是非、活用していただきたい。

・施策に取り組むことには賛成ですが、維持管理には人手が必要です。人口減少し、高齢化している中山間地では難しいと思われます。

・大雨による水害対策として将来的な効果が期待出来るなら素晴らしいです。地域に住む農家さんの率直な意見や感想が気になるところです。(メリット、デメリット含めて)